



## 2024年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年12月12日

東

上場会社名 株式会社Ridge-i 上場取引所  
 コード番号 5572 URL http://ridge-i.com  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)柳原 尚史  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)中井 努 (TEL)03(4214)8558  
 四半期報告書提出予定日 2023年12月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年7月期第1四半期の業績（2023年8月1日～2023年10月31日）

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第1四半期	212	—	5	—	5	—	3	—
2023年7月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第1四半期	0.80	0.76
2023年7月期第1四半期	—	—

(注) 2023年7月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年7月期第1四半期の数値及び2024年7月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第1四半期	2,052	1,992	97.1
2023年7月期	2,062	1,989	96.5

(参考) 自己資本 2024年7月期第1四半期 1,992百万円 2023年7月期 1,989百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年7月期	—	—	—	—	—
2024年7月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年7月期の業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	466	6.9	29	△64.5	29	△64.6	20	△64.3	5.51
通期	1,000	26.5	102	45.1	102	67.6	71	60.3	19.06

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期1Q	3,794,130株	2023年7月期	3,794,130株
② 期末自己株式数	2024年7月期1Q	2株	2023年7月期	2株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期1Q	3,794,128株	2023年7月期1Q	3,464,128株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、景気が緩やかに持ち直されてきているものの、継続的な物価上昇や世界的な金融引締め等により、金融市場や景気動向は先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社を取り巻く国内AI市場においては、AIやDXへの注目の高まりにより、生産性向上や競争力強化を目的としたDX関連の高い需要が継続しており、引き続き様々な場面においてAI導入の流れが加速しております。

当社は「データ・AIを駆使した最先端技術とビジネス知見を用いて、未解決の課題に挑み、新しい社会を実現する」をミッションとして掲げ、カスタムAIソリューション事業として顧客の目的から現場のプロセス、課題を理解し、様々なデータに対応したAIを組み合わせた最適なAIソリューションを提案し、実装までを行っております。当第1四半期累計期間においては、前期から継続している大手企業の顧客を中心としたAIプロジェクトの継続に加えて開始が遅れていた案件やコンサルティングファームとの連携による案件が開始されたことによりAI活用コンサルティング・AI開発の売上高は147,621千円となりました。衛星関連プロジェクトは予定通り案件が増加してきており人工衛星AI解析の売上高は46,518千円となりました。AIライセンス提供については新規案件がありませんでしたが大型の保守運用が継続しており売上高は18,370千円となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は212,510千円となり、営業利益5,047千円、経常利益5,055千円、四半期純利益3,053千円となりました。

なお、当社の事業セグメントはカスタムAIソリューション事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,944,379千円となり、前事業年度末に比べ5,691千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が23,141千円減少した一方で継続途中のプロジェクトが増加し売掛金及び契約資産が13,045千円増加したことによるものであります。また、当第1四半期会計期末における固定資産は108,342千円となり、前事業年度末に比べ4,255千円減少いたしました。これは主にソフトウェアの減価償却費3,167千円が計上されたことによるものであります。この結果、総資産は2,052,721千円となり、前事業年度末に比べ9,946千円減少いたしました。

##### (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は60,180千円となり、前事業年度末に比べ13,000千円減少いたしました。これは主に、税金の支払いにより未払法人税等が26,889千円減少した一方で継続途中のプロジェクトに関する外注費の未払が増加し買掛金が13,066千円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は60,180千円となり、前事業年度末に比べ13,000千円減少いたしました。

##### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,992,540千円となり、前事業年度末に比べ3,053千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が3,053千円が増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の業績予想につきましては、2023年9月12日公表の「2023年7月期決算短信」から変更ありません。

なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年7月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,720,780	1,697,638
売掛金及び契約資産	197,116	210,162
電子記録債権	—	8,250
仕掛品	1,442	—
前払費用	18,042	18,863
その他	12,688	9,464
流動資産合計	1,950,070	1,944,379
固定資産		
有形固定資産	5,274	5,887
無形固定資産	34,738	31,571
投資その他の資産	72,584	70,882
固定資産合計	112,597	108,342
資産合計	2,062,668	2,052,721

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年7月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,400	18,467
賞与引当金	—	4,800
未払金	20,048	18,278
未払法人税等	27,189	300
その他	20,542	18,334
流動負債合計	73,180	60,180
負債合計	73,180	60,180
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	365,650	365,650
資本剰余金	1,578,024	1,578,024
利益剰余金	45,814	48,867
自己株式	△1	△1
株主資本合計	1,989,487	1,992,540
純資産合計	1,989,487	1,992,540
負債純資産合計	2,062,668	2,052,721

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2023年8月1日 至2023年10月31日)
売上高	212,510
売上原価	75,374
売上総利益	137,135
販売費及び一般管理費	132,088
営業利益	5,047
営業外収益	
受取利息及び配当金	7
営業外収益合計	7
経常利益	5,055
税引前四半期純利益	5,055
法人税、住民税及び事業税	300
法人税等調整額	1,701
法人税等合計	2,001
四半期純利益	3,053

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

資本金の額の減少

当社は、2023年10月26日開催の定時株主総会において資本金の額の減少を行うことを決議し、2023年12月1日付でその効力が発生しております。

1. 資本金の額の減少の目的

今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替えるものであります。

2. 資本金の額の減少の要領

(1) 減少する資本金の額

資本金の額365,650千円を355,650千円減少して、減少後の資本金の額を10,000千円といたします。

(2) 資本金の額の減少の方法

払戻を行わない無償減資とし、発行済株式総数を変更することなく、資本金の額を減少するものであります。減少する資本金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えるものであります。

(3) 資本金の額の減少の日程

①取締役会決議日	2023年9月20日
②定時株主総会決議日	2023年10月26日
③債権者異議申述最終日	2023年11月30日
④減資の効力発生日	2023年12月1日

3. 今後の見通し

本件は、純資産の部における勘定科目間の振替処理であり、純資産の変動はなく、当社業績に与える影響はありません。